（日刊）（明治廿五年三月十七日第三種郵便物認可）　昭和二十年三月二十六日　朝日新聞　（月曜日）　第二万二千八百

朝日新聞
所行発
朝日新聞大阪本社

神風隊もウルシーを強襲
正規空母一を大破

サンファビアン リンガエン 基地、船舶も猛爆

大本營發表（昭和二十年三月二十五日十五時）一、神風特別攻撃隊梓隊は去る二月十一日夜、西「カロリン」諸島「ウルシー」に在泊中の敵機動部隊に攻撃せり

本攻撃の戰果に就きては當時火柱數條を認めたるも其の後の調査に依り右は尠くとも敵正規航空母艦一隻を大破炎上せしめたること判明せり

二、我航空部隊は三月二十日「ルソン」島「サンファビアン」並に「リンガエン」の敵航空基地並に在泊輸送船群を攻撃し地上に於て二箇所を大爆發、二十箇所を炎上せしめ飛行場周邊を火の海と化せしめたる他輸送船二隻を爆發炎上せしめたり

來寇準備の敵艦攻撃

わが航空部隊は敵機動部隊の來寇を邀へて、あるひは本土近海に待撃攻撃、あるひは基地邀撃を敢行、敵撃滅に遺憾なきを期したが、神風特別攻撃隊梓隊は去る三月十一日、本土を離れること千四百余カイリの敵前進根據地を急襲、ウルシー環礁内に在泊してわが本土來寇を準備中の敵機動部隊に対し、中日發後、火柱數條が確認された

一隻は梓隊の攻撃に依り大破炎上したことが判明したが、その後にいたり敵正規空母一隻は梓隊の攻撃に依り大破炎上したことが判明したまたわが航空部隊は二十二日發夜サンファビアン方面の敵飛行場、ダバオ方面の敵陣地、リンガエン方面敵航空基地[illegible]

[illegible]にサンファビアン飛行場はわが正確無比の爆撃に依り無[illegible]する大爆発數條が見られ、全飛行場および尨大な物資集積所を火炎[illegible]

[illegible]の航空基地クラーク方面の敵[illegible]にも大規模の必中弾を浴びせ大損害を與へた

[illegible]ヤップ島のわが所[illegible]期間、島水際において多數の敵艦[illegible]の破損した部品[illegible]を見た、これは今週の偵察から[illegible]

敵艦[illegible]の浮流物發見

[illegible]隊は三日[illegible]られてゐる

米新鋭空母撃沈

琉黄島沖で他の一隻も共にか

【ニューリッと特電二十四日発】グアム島発ロイター電によれば二十四日ニミッツ司令部は米空母ビスマーク・シー号（一〇、二〇〇トン）は琉黄島沖において日本機の空襲を受け沈没したと發表した

【リスボン二十四日発同盟】空母ビスマーク・シーは琉黄島に陣作戰三日目、日本機により右舷側に攻撃を受け間もなく二回にわたつて大爆発を起し、燃焼してゐた多數の魚雷とガソリンを詰めたはかりの飛行機二機に引火し全艦猛火に包まれて沈没した爆撃は同艦は昨年カイザー造船所で進

[illegible]就役後間もなく撃沈されたので、AP記者ケイガーはビスマーク・シーとともに撃沈されたと報じてゐるが、ニミッツ司令部は損害を極力隠蔽する建前から第二艦の喪失については全然沈默を守つてゐる

米徵兵法延長

【リスボン二十三日発同盟】ワシントン来電＝下院は二十三日來る五月十五日をもつて満期となる一九四〇年の選抜徵兵法の一年延長法案を可決、上院に回付した

議會筋の説明によれば徵兵法によつて新規に徵兵される兵員の

敵、損害の一部發表

【リスボン二十五日発同盟】グアム島發電によれば米太平洋艦隊司令部は二十五日にいたり日本本土水域で作戰中の第五艦隊に所屬する空母搭載機隊と西國、九州その他の陸上基地からする日本航空部隊との間に三月二十、二十一の両日戰闘が繰ひられた事を発表同時に右戰闘において米艦隊[illegible]小出し発表したにはれる

桑港會議正式名稱

【リスボン二十三日発同盟】ワシントン来電＝國務省當局は二十三日、サンフランシスコ會議の正式名稱は「國際機構會議」及「國際機構」と決定したと発表した、

神潮特攻隊 勇士の遺影

回天記念館

回天記念館